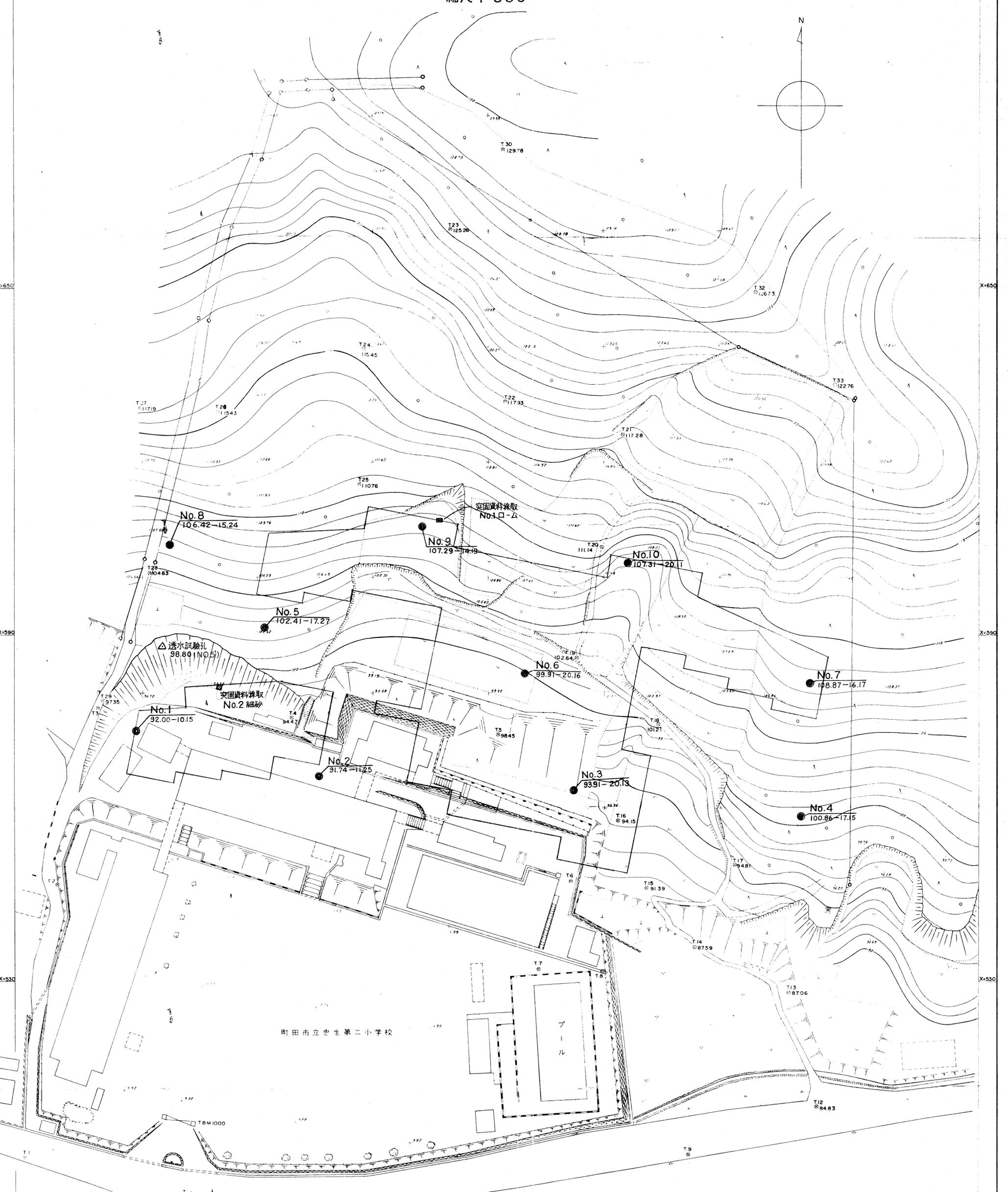
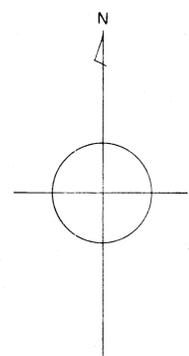


調査位置図

縮尺 1:300



注：本図は町田市教育委員会より貸与された町田市立忠生第二小学校現況平面図(1:300)の多角点に掘りボリング位置を定め、部分的に等高線を修正した。

件名	町田市立忠生第二小学校校舎 改築及び造成工事に伴う地質調査委託		
場所	町田市上小山田623~1番地外		
図面名	調査位置図		
縮尺	1:300		
作製年月日	52.3.	作製者	

地質柱状図

(注) 1. 試料採取方法の記号(記号の右の数字は試料番号)
 ○-1 乱さない試料
 ⊙-2 貫入試験機による試料
 ●-3 コア試料
 2. 試料採取深度と回収比
 3.20-3.70は試料採取深度(m)
 45 は回収比(50cm:貫入深さ,
 50 45cm:試料長さ)

調査件名 町田市立忠生第二小学校 校舎改築及造成工事に伴う地質調査委託

NO. 1 標高 92.00m

孔内水位 3.10m 調査期間 昭和 年 月 日より 昭和 年 月 日まで

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	孔内水位 m	柱状図	色調	地質名	観察	コンシステンシー	標準貫入試験						試料			
										深度 m	N 値 回/cm	10cm毎の打撃回数			N 値				
												10	20	30	40	50			
1								上部フック状塊混入すの 粘土	ゆるい	100 30	6	2	2	2				○	1
2	89.70	2.30	2.30	3.10			盛土	砂礫の粘土に砂		200 30	10	1	3	6				○	2
3								含水量中位	中位	300 30	22	7	7	8				○	3
4								粒径小砂を混入す	粘り	400 30	37	9	13	15				○	4
5								茶褐色の細砂を	粘り	500 30	44	10	14	20				○	5
6								又の扶土	粘り	600 30	50	10	14	26				○	6
7								粘土を混入す	非常粘り	700 15	50	15	22	28			(100.0)	○	7
8								全体に固結状	粘り	800 30	50	11	18	21				○	8
9										900 15	50	19	20	30			(79.0)	○	
10	81.85	10.15	7.85				細砂			1000 15	50	15	27	28			(100.0)	○	8

地質柱状図

(注) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)
 ○-1 乱さない試料
 ⊙-2 貫入試験機による試料
 ●-3 コア試料
 2. 試料採取深度と回収比
 3.20-3.70は試料採取深度 (m)
 45 は回収比 (50cm:貫入深さ,
 50 45cm:試料長さ)

調査件名 町田市立忠生第二小学校 校舎改築造成工事に伴う地質調査委託

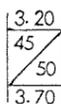
NO. 2

標高 91.74 m

孔内水位 2.80 m

調査期間

昭和52年3月3日より
 昭和52年3月4日まで



標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	孔内水位 m	柱状図	色調	地質名	観察	コンシステンシー	標準貫入試験						試料				
										深度 m	N値 回/cm	10cm毎の 打撃回数			N値					採取方法
												10	20	30	40	50				
1	87.34	4.40	4.40	2.80	[Blank]	[Blank]	盛土	全体的に含水量が中位に2.170%の0-4層土層に於て下層混入する粗粒土に於る	軟弱	1.00	3	1	1	1	○	-				
2										30	6	1	2	3			○			
3										30	5	1	2	2			○			
4										30	7	2	2	3			○			
5	80.49	11.25	6.85	[Blank]	[Blank]	[Blank]	細砂	含水量が中位に2.5%の全体的に母岩を混入し又はいくつかの小石を含有する8.50m位の粗粒状又は粗粒状	中位から密な非常に密な	5.00	28	8	9	11	○	-				
6										30	29	8	9	12			○			
7										30	47	13	14	20				○		
8										28	50	28	14	17					18	(536)
9										25	50	14	33	17					(1071)	
10	26	50	26	13	21	16	(577)													
11	25	50	25	14	22	15	(609)													
12																				
13																				
14																				
15																				
16																				
17																				
18																				
19																				
20																				
21																				
22																				
23																				
24																				
25																				
26																				
27																				
28																				
29																				
30																				

地質柱状図

(注) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)
 ○-1 乱さない試料
 ⊙-2 貫入試験機による試料
 ●-3 コア試料
 2. 試料採取深度と回収比
 3.20-3.70は試料採取深度 (m)
 45 は回収比 (50cm:貫入深さ,
 50 45cm:試料長さ)

調査件名 所田市立生第二小学校 校舎改築及造成工事に伴う地質調査委託

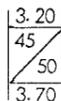
NO. 3

標高 93.91 m

孔内水位 5.85 m

調査期間

昭和52年3月5日より
 昭和52年3月7日まで



標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	孔内水位 m	柱状図	色調	地質名	観察	コンシステンシー	標準貫入試験						試料				
										深度 m	N値 回/cm	10cm毎の 打撃回数			N値					採取 方法
												0	10	20	30	40	50			
1	93.91	0.00						含水量中位 全体に円砂混入す 軟灰質の粘性土 より	極ゆるい	100 30	2	15	15							○
2	91.21	2.70	2.70		茶褐色	盛土				200 30	3	1	1	1						
3				5.85				含水量中位	中位	300 30	16	4	5	7						
4								全体の		400 30	17	5	6	6						
5								雲母を混入す		500 30	19	6	6	7						
6								2mm円砂中8mm 程度の砂混入す		600 30	28	9	9	10						
7										700 30	29	8	9	12						
8										800 30	29	8	10	11						
9										900 30	40	9	12	19						
10										1000 30	40	10	13	17						
11										1100 30	45	10	15	20						
12								14.50m付近		1200 25	50	25	19	24	7			(60.0)		
13								薄、砂を挟む		1300 23	50	23	17	23	10			(65.2)		
14					黄褐色			15.00m付近		1400 24	50	24	18	20	12			(62.5)		
15								暗黄褐色を有す		1500 25	50	25	15	23	15			(60.0)		
16								砂も多量に存在		1600 22	50	22	20	22	8			(68.2)		
17										1700 19	50	19	20	30	19			(79.0)		
18	75.21	18.70	16.00		暗黄褐色	細砂				1800 18	50	18	25	25	16			(93.7)		
19								含水量中位 雲母混入す		1900 14	50	14	24	26	14			(107.1)		
20	73.78	20.13	1.43		暗黄褐色	粘土混、 細砂		2mm円砂粘土挟む		2000 13	50	13	28	22	13			(115.3)	○	

地質柱状図

(注) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)
 ○-1 乱さない試料
 ⊙-2 貫入試験機による試料
 ●-3 コア試料
 2. 試料採取深度と回収比
 3.20-3.70は試料採取深度 (m)
 45 は回収比 (50cm:貫入深さ,
 50 45cm:試料長さ)

調査件名 町田市立忠生第二小学校 校舎改築及び造成工事に伴う地質調査委託

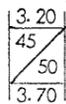
NO. 6

標高 99.91 m

孔内水位 11.20 m

調査期間

昭和52年3月16日より
 昭和52年3月18日まで



標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	孔内水位 m	柱状図	色調	地質名	観察	コンシステンシー	標準貫入試験						試料	
										深度 m	N値 回/cm	10cm毎の 打撃回数 10 20 30 cm cm cm			N値 0 10 20 30 40 50		
1	99.91	1.80	1.80	11.20	△	茶褐色	盛土	水量中位 粘着力の強いロ-4 による整地土	極ゆるい	1.00 30	2	1	1	10	○	1	○
2					●					2.00 30	12	3	4	5	○		
3					●			全体的に		3.00 30	13	4	4	5	○		
4					●			水量が中位	中位	4.00 30	18	5	6	7	○		
5					●			に雲母を混入		5.00 30	20	5	7	8	○		
6					●			の細砂及び		6.00 30	26	7	9	10	○		
7					●			ある		7.00 30	30	8	10	12	○		
8					●			及び小粒中10%	密な	8.00 30	27	8	9	10	○		
9					●			の内砂混入する		9.00 30	29	9	10	10	○		
10					●			茶褐色の細砂		10.00 30	30	8	11	11	○		
11					●			を挟む		11.00 30	37	9	11	17	○		
12					●			1400m付近に	非常に	12.00 30	34	8	10	16	○		
13					●			や固結状となり	密な	13.00 30	36	9	12	15	○		
14					●			良好な		14.00 30	38	10	12	16	○		
15					●					15.00 28	50 28	15	19	18	○	(53.6)	
16					●					16.00 24	50 24	17	22	14	○	(62.5)	
17					●					17.00 28	50 28	17	19	18	○	(53.6)	
18					●					18.00 22	50 22	19	23	12	○	(68.2)	
19					●					19.00 28	50 28	20	30	18	○	(83.3)	
20	79.75	20.16	18.36		●	黄褐色	細砂			20.00 16	50 16	25	25	16	○	(93.7)	
21					●												
22					●												
23					●												
24					●												
25					●												
26					●												
27					●												
28					●												
29					●												
30					●												

地質柱状図

(注) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)
 ○-1 乱さない試料
 ⊙-2 貫入試験機による試料
 ●-3 コア試料
 2. 試料採取深度と回収比
 3. 20-3.70は試料採取深度 (m)
 45 は回収比 (50cm:貫入深さ,
 50 45cm:試料長さ)

調査件名 町田市立忠生第二小学校 校舎改築及び造成工事に伴う地質調査委託

NO. 7

標高 108.87 m

孔内水位 なし

調査期間

昭和52年3月12日より
 昭和52年3月15日まで

3.20
 45
 50
 3.70

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	孔内水位 m	柱状図	色調	地質名	観察	コンシステンシー	標準貫入試験						試料					
										深度 m	N 値 回/cm	10cm毎の打撃回数			N 値					採取方法	採取深度 m
												10	20	30	40	50					
1	108.87	0.00						含水量が中位 粘着力のある 凝灰質ホトシ	堅土	100	9	3	3	3					1	○	
2	106.17	2.70	2.70				凝灰質シルト		中	200	10	3	3	4					2	○	
3							粘土混、 細砂	含水量中位 全体に固結粘土 を挟む	中位	300	13	4	4	5					3	○	
4	104.37	4.50	1.80				小粒径、 細砂	小粒径を混入し よく締りこむ	極密	400	21	5	8	8					4	○	
5	103.27	5.60	1.10				粘土混、 砂礫	含水量が少なく 粘土混、砂礫にて 最大φ50mmあり	非常に密	500	50	17	25	25			(88.2)		5	○	
6							粘土混、 砂礫		非常	600	50	18	24	18			(83.3)		6	○	
7									非常	700	50	20	21	29			(75.0)		7	○	
8	100.07	8.80	3.20						非常	800	50	20	21	29			(75.0)	透水 試験	8	○	
9								全体的に含水量が 中位によく締りこむ	非常	900	50	24	14	23	13			(62.5)		9	○
10								細砂に 又、薄く粘土を 挟む	非常	1000	50	24	14	23	13			(75.0)		10	○
11								1400m付近より も固結状を みる	非常	1100	50	20	20	30					11	○	
12									非常	1200	50	25	17	20	13			(60.0)		12	○
13									非常	1300	50	14	17	19					13	○	
14									非常	1400	50	18	23	18				(83.3)		14	○
15									非常	1500	50	24	17	23	10			(62.5)		15	○
16	92.70	16.17	7.37				細砂		非常	1600	50	17	25	17				(88.2)		16	○
17																					
18																					
19																					
20																					
21																					
22																					
23																					
24																					
25																					
26																					
27																					
28																					
29																					
30																					

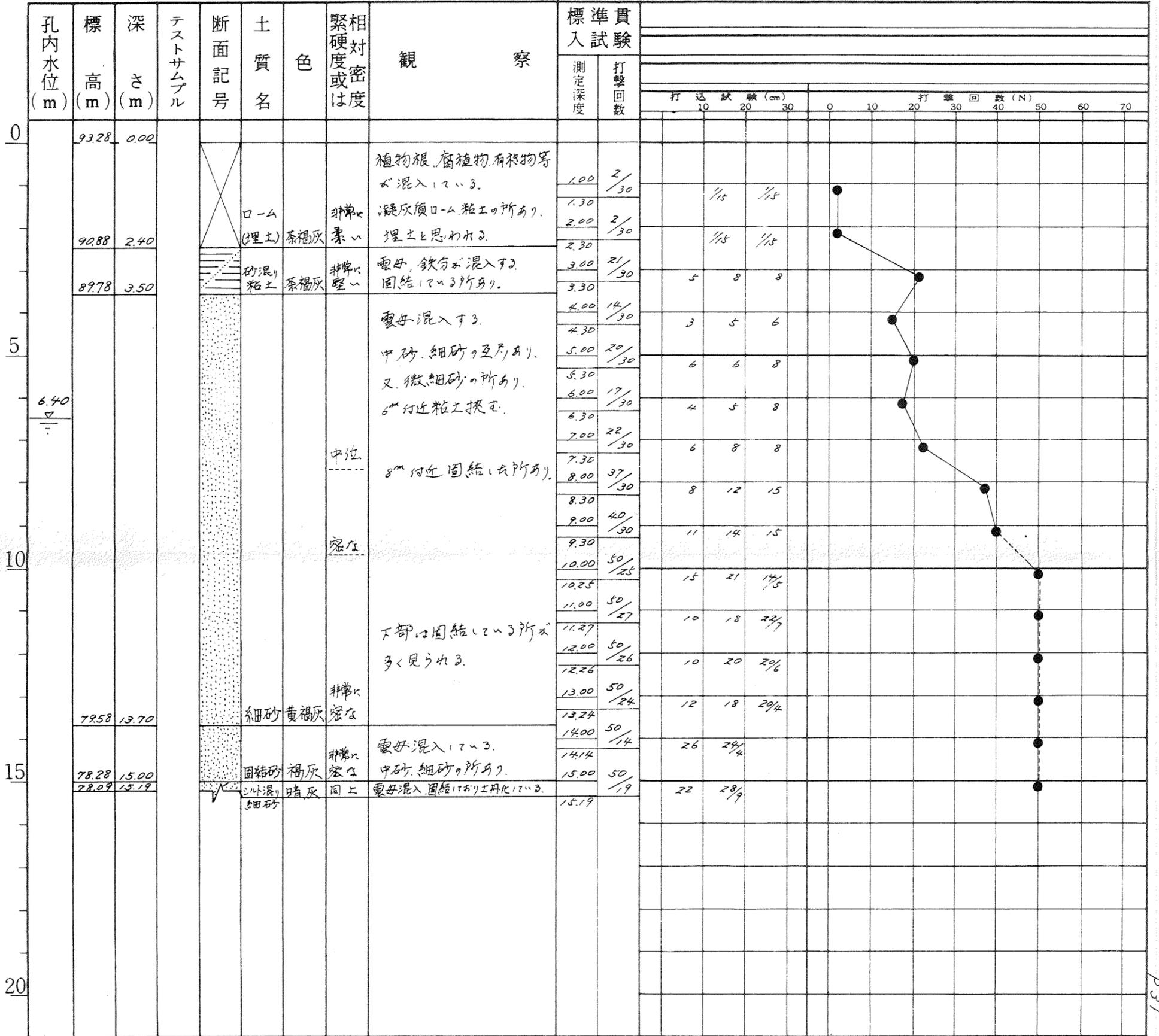
土質柱状断面図 (図一)

地点-No. 3

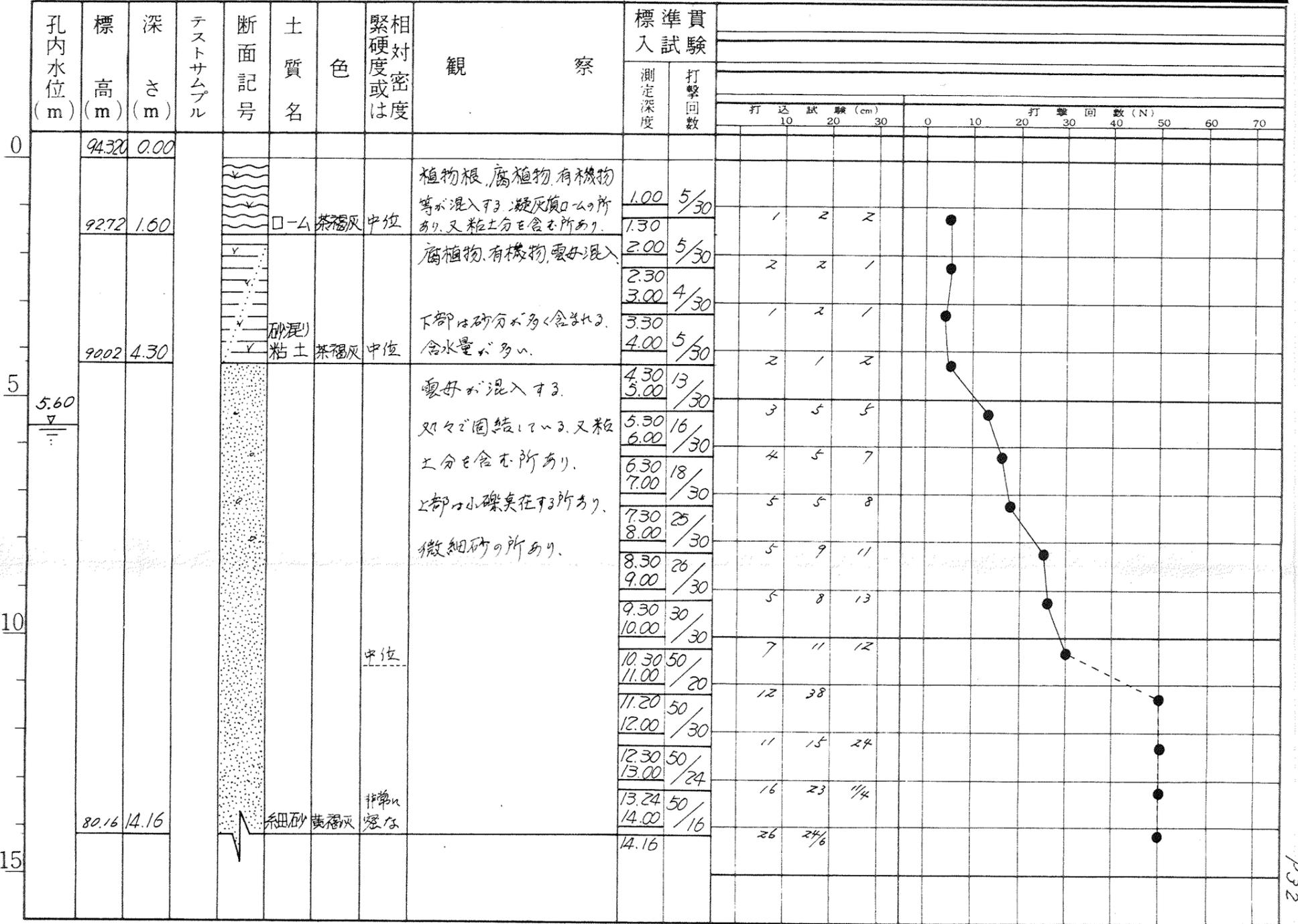
孔内水位 (m)	標高 (m)	深さ (m)	テストサンプ ル	断面記 号	土質 名	色	相対 密度 或は 緊硬 度	観 察	標準貫 入試験		打撃回数(N)										
									測定 深度	打撃 回数	打 込 試 験 (cm)			打 撃 回 数 (N)							
										10	20	30	0	10	20	30	40	50	60	70	
0	85.94	0.00						腐植物有機物、植物根 が多く混入している。	1.00	3/30											
					粘土質 ローム	茶褐色	柔らかい	下部は粘土が多い。	1.30	3/30	/	/	/								
	83.64	2.30			粘土混 砂	暗灰	非常に ゆるい	腐植物雲母混入する。 砂質粘土の所あり。	2.30	5/30	/	/	/								
	82.69	3.25			砂	暗灰		礫径φ10~20mm砂が多い	3.30	11/30	/	/	3								
	82.14	3.80			砂	暗灰		雲母混入する。	4.30	20/30	3	3	5								
5	80.64	5.30			細砂	褐灰	中位	中砂、細砂の互層あり。	5.00	20/30	7	6	7								
									5.30												

土質柱状断面図 (図一)

地点-No. 5



地点-No. 6



P32